水源の状況と天候の見通し (12月~2月)

1	東海地方の天候(11月)	. 1
2	ダム地点の降水量(11月)	. 1
3	水源の状況と天候の見通し	. 2
	(1) 水源の状況	. 2
	(2) 東海地方の3か月予報(12月~2月)	. 4

令和7年12月2日

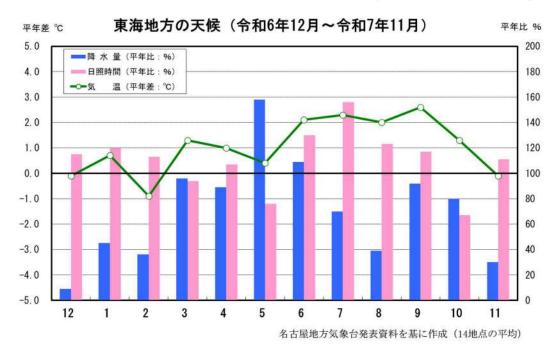


(https://www.aitoyo.or.jp/)

1 東海地方の天候(11月)

上旬は、天気は数日の周期で変わりましたが、中旬以降は高気圧に覆われやすく晴れた日が多くなりました。このため、月間日照時間は多くなりました。また、月を通して低気圧や前線の影響が小さかったため、月降水量はかなり少なくなりました。

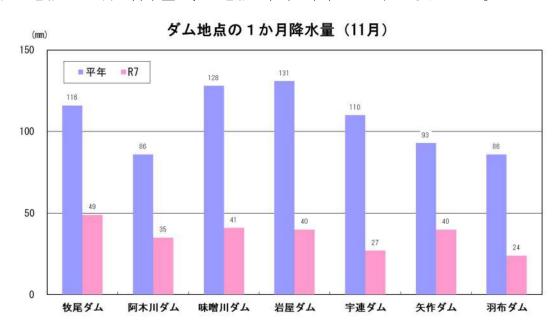
月平均気温は「平年並」、月降水量は「かなり少ない」、月間日照時間は「多い」となりました。



(名古屋地方気象台 令和7年12月2日発表資料を基に作成)

2 ダム地点の降水量(11月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比34%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1)水源の状況

令和7年11月30日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載して いますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索 (https://www.aitoyo.or.jp/

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R7. 11. 30

水源	利水容量 (千m3)	貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	57, 853	85. 1	81.2	+ 3.8
阿木川ダム	22,000	20, 709	94. 1	91.0	+ 3.1
味噌川ダム	31,000	30, 504	98. 4	96.0	+ 2.4
岩屋ダム	61, 900	61, 178	98. 8	95.3	+ 3.5
豊川水系					
宇連ダム	28, 420	6, 550	23. 0	74.4	△ 51.3
豊川用水全体	51,820	20, 841	40. 2	83.7	△ 43.5
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	20, 500	31.5	51.4	△ 19.8
羽布ダム	18, 461	10, 506	56. 9	69. 9	△ 12.9

注)貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値 貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 57,853 千m3 11月30日 現在 (mm) 800 ■平成6年 ■*平均 ■令和7年 600 400 310 289 252 209 200 37 6 3月 6月 11月 12月 $(\pm m^3)$ 80,000 -- · - 有効貯水量(68,000千m3) ------平成6年 ---*平均 一令和6年 70,000 60,000 50,000 40,000 30,000 20.000 10,000 1月1日 2月1日 3月1日 4月1日 5月1日 6月1日 7月1日 8月1日 9月1日 10月1日 11月1日 12月1日

> *平均:昭和37年1月から令和6年12月 (データ提供:独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所URL https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/)

豊川用水全体の貯水量曲線

20,841 千m3 11月30日 現在 貯水量



*平均:平成14年4月から令和6年12月(雨量は昭和43年4月から令和6年12月) (データ提供:独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 10,506 千m3 11月30日 現在 (mm) ■平成6年 ■*平均 ■ 令和**7**年 600 ダム地点降水量 400 278 256 183 200 131 91 24 16 0 11月 12月 1月 2月 3月 4月 6月 7月 9月 10月 $(\pm m^3)$ 25,000 ------ 平成6年 *平均 · - 有効貯水量(18,461千m3) 令和6年 - 令和7年 20,000 15,000 10,000 5,000 1月1日 2月1日 3月1日 4月1日 5月1日 6月1日 7月1日 8月1日 9月1日 10月1日 11月1日 12月1日

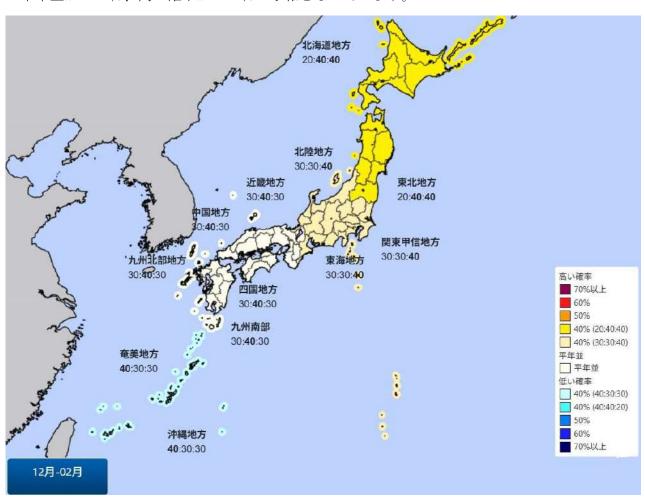
*平均:昭和39年1月から令和6年12月 (データ提供:愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(12月~2月)

(名古屋地方気象台 令和7年11月25日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(12月~2月)の平均気温は、下図のように、低い確率が30%、 平年並が30%、高い確率が40%の予報となっています。



同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の等級に区分することとします。

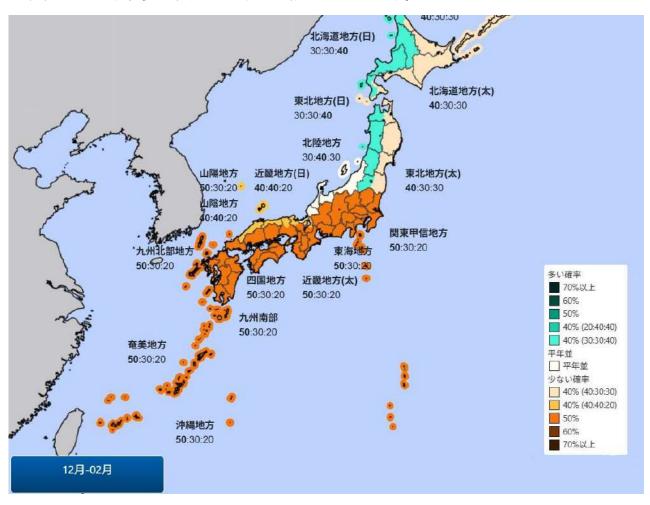
この結果、気温は、3か月全般で[+1]、12月は[+1]、1月、2月は[0]となります。

気温の各階級の確率(%) (東海地方) 30 3か月 30 40 30 12月 30 40 30 40 30 1月 30 40 30 2月 ■低い □平年並 ■高い

各階級の確率と等級								(東海地方)	
気	温	等	級	予報確率	3か月	12月	1月	2月	
		+5		: :70					
		+4		: :60					
高	٧V	+3		: :50					
		+2		20:40:40					
		+1		30:30:40	•	•			
平年	三並	0					•	•	
		-1		40:30:30					
		-2		40:40:20					
低	٧V	-3		50: :					
		-4		60: :					
		-5		70: :					

② 降水量

東海地方の3か月全般(12月~2月)の降水量は、下図のように、少ない確率が50%、平年並が30%、多い確率が20%の予報となっています。



同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5 段階の 等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[-3]、12月は[-3]、1月、2月は[-2]となります。

